

平成 19（2007）年度「NGO 長期スタディ・プログラム」最終報告書

氏名： 松澤桂子

日本側所属団体： 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン

海外研修先名： One World Action

研修期間： 2007 年 10 月 27 日 ～ 2008 年 3 月 26 日

研修テーマ： 市民を巻き込んだキャンペーンの手法を学ぶ

【研修期間全般を通じて行った業務および活動】

- ・ 調査
- ・ 映像制作
- ・ 電話応対、来客、郵便物処理
- ・ 封詰め、発送
- ・ 入力
- ・ 企画準備、実施
- ・ 講座運営
- ・ チャリティショップ訪問
- ・ 他NGO主催研修、集会への参加

【具体的な研修内容】

- ・ 調査：以下についてOWA、他団体の事例を調べまとめ、OWAで使えそうなものを今後の討議資料として提示する
 - －会員組織のあり方、意思決定プロセス
 - －自宅勤務、時短勤務など柔軟な就業方針
 - －クレーム、賛辞、提言処理方針、プロセス
 - －評価と点検
- ・ 映像制作：OWAの認知度を高め、行動を起こさせることを目的とした短編2編
- ・ 封詰め、発送：季節、行事にあわせた協賛者へのアピール送付
- ・ 入力：寄付者、問い合わせ者を管理システムに登録
- ・ 企画準備、実施：パートナーNGOスタッフ来所持の歓送迎会、国際女性デー関連イベント
- ・ 講座運営：点検評価について、スタッフ・ボランティア対象四半期学習フォーラムを実施

【本研修の成果】

- ・ OWAもWE21 ジャパンも、異なる利害関係者間のよりよい連携を模索中であり、OWAでの議論をWE21と置き換えて考え、今後の自団体のあり方について、自分の役職について、自分なりの考えを持つことができた。
- ・ 異なる職場を体験し、その良さも改善点も見ることができた。（シンプルな組織構造、役職を越えた発言、ワークライフバランスを考えた就業状況の改善、意思決定、地域の巻き込み方、同業にしかた通じない複雑な言葉遣いの回避等）
- ・ 開発全般の知識と語学力の向上、NGOスタッフとして大切なことを学んだ。
- ・ イギリスを寄付社会にしている要素を知った。
- ・ イギリス社会の問題点を垣間見ることができた。

【研修テーマや本研修で求めていたことが達成できましたか。達成できなかった場合は、その理由もお書きください。】

- ・ 研修テーマである「市民を巻き込んだキャンペーンの手法」については、満足度は半分である。理由は、研修先がキャンペーンを得意とせず、今後取り組むところだったこと、その分 BOND の研修や他の NGO、活動家グループとの接触で学ぶことができたことにある。
- ・ 「英国 NGO の運営方法を学ぶ」については、予想以上に多くのことを学べた。大規模で官僚的な NGO で全体の一部だけを知るよりも、全体の流れが見えてよかった。アドバイスを下さった選考委員の方々、JANIC の方々に感謝している。
- ・ 点検評価について調査する機会を与えられ、まだ自団体の振り返りはできていないが、考えを深めることができた。

【本研修成果を自団体の能力強化にどのように活かそうと考えますか】

- ・ 団体のしたいことと、できることの見極めと実践。実現のための、適材適所での人材、資源の投入
- ・ チャリティショップで見てきた事例の提示
- ・ 対象をしぼった共有活動、他団体・大学・企業等とのコラボレーション案提示

【今後の課題】※本プログラムや事務局側に対する要望等でも構いません

- ・ 受入先がこれまでインターンを受け入れたことのない団体だったせいか、研修が終わる頃に「2週間に1度程度、業務以外についての研修生とのミーティング等を持ちコミュニケーションを図ればよかったと考えている」と事務局長にいわれた。受入時の条件として、加えていただくと良いのではないか。
- ・ フルタイムでの研修で、研修中に知り合った他団体を平日訪ねることができなかった。受入先との取り決めで、OWA以外に出向く際には権利として取れる休暇を充てるよう言われ、BOND研修だけでほぼ使い切ってしまった。覚書にある「原則として1団体のみでの研修」という言葉に私も受入先もとられすぎたのかもしれないが、広く外国のNGOや国際機関を知る、という意味で、平日を使い他団体から学ぶことも許可していただけるとありがたい。